苫南だより

第190号
令和4年5月31日
発行
苫小牧南高等学校PTA

皆様のご協力をお願い致します

PTA会長　山端敬史

昨年に引き続き会長を務めさせていただく事に成りました山端です。

現在、南高校の2学次に3女がお世話になっております。

保護者の皆様には、日頃からのPTA活動のご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。また、教員の皆様にはコロナ対策で大変な中、真摯に御指導いただきありがとうございます。3年目も皆様方との繋がりを大切にして、感謝の気持ちで活動したいと思っております。

私がPTA会長になっての2年間は、コロナの影響で集まってのPTA活動がほぼ出来ませんでした。活動の一大イベントである学校祭を始めとしてPTA総会や役員会など感染予防の為に集まらない形で書面での対応させていただきました。保護者のご理解とご協力により、また、教員の皆様のコロナ対策のおかげで校内でのクラスターを防いで頂いたことを心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ここで嬉しいお知らせですが、徐々にではありますがコロナ対策しながら一部の活動を再開、自粛解除してきております。令和3年度の卒業式には吹奏楽の生演奏が聴けました。私事ですが卒業した娘が吹奏楽部でしたので、親目線で「演奏出来て良かったね」と嬉しく思いました。この時来賓の挨拶で私が会長になって初の壇上での祝辞をさせて頂きました。その他、PTA役員会の開催など、徐々にですが日常に一歩ずつ近づいてきております。今後もコロナ感染に配慮しながらPTA活動を進めていきたいと考えております。

今年から翌年の2年間、南高校は『北海道高等学校PTA連合会胆振支部』の担当となり、運営する事が決まっており年間で2つの事業を行います。地方から多くの方々を迎えての事業も有りますので、「参加して良かった」と思えるような内容にしたいと考えております。保護者の皆様も楽しみにしていて下さい。この事業が成功するように努力してまいります。運営時には皆様のご協力が必要な場面もあると思いますので、お願いばかりで申し訳ありませんが、お力添えもよろしくお願いいたします。

今年は新たな行事や、PTA活動、生徒達の学校での活動など、コロナ渦でも十分配慮をしながら、あの日常に近づけるよう皆様の智恵をお借りしながら、生徒達の為に会長として取り組んでいきます。今後も苫南PTAのチームワークで教職員の皆様と保護者の皆様で協力し、良い関係性を保ちながら生徒のために頑張りましょう。

「小さなおとな」とともに

校長　髙橋　昭仁

昨年四月の着任から二年目になりました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

本校ではこの度、この数年の学校改革の方向性を踏まえて、スクール・ミッション並びにスクール・ポリシーを策定しました。本校の生徒は、その気質として素直で受け身といわれることがありますが、何事にも吸収力が大きいということでもあります。そして、吸収したことを基盤に様々な力を開花させるエネルギーを持っています。私たち教職員は、今年度も引き続き、生徒の可能性を引き出す「『もっとやれる』に気付く学校」づくりを進め、教育目標である「国際社会の有為な形成者を目指し、若さにあふれ、実践力に富む人間を育成する」教育活動に取り組んでまいります。

今年度の動きとして、一年次生から新しい学習指導要領に基づく教育課程が始まりました。保護者の皆様にご負担いただきましたＢＹＯＤによる一人一台端末は、校内無線ＬＡＮに接続する設定が完了しました。私たち教職員にとっても試行錯誤の日々ですが、授業等での活用を少しずつ進めてまいります。その一方で、今年度も新型コロナウイルスの状況に対応しながらの教育活動となりそうです。ご家庭の協力をいただきながら生徒の皆さん一人一人が感染防止対策を徹底することで、従来の教育活動を取り戻し、本校がこれまでの四十六年間で積み重ねてきた教育実践と生徒たちが脈々と受け継いできた良い気風と伝統に、新たな歴史を重ねてまいります。

さて、今年も百六十名の新入生を迎えることができました。入学式では新入生に、自立した社会人への歩みとして、自分の良さを見つけること、他を尊重する気持ちを持つこと、何事も鵜呑みにせず疑問を持って自分で考えることの３点を伝えました。人生は選択の連続です。自信を持ってより良い選択をし、責任を持って生きていく基盤として、多様に学んでくれることを期待しています。２月に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、世界の不安定さを改めて私たちに突きつけました。私たちに何ができるかは大変難しいことですが、生徒にもこのことをしっかりと受け止め、自分は何をどのように選択して行動していくのかを考えて欲しいと思っています。

この４月から成年年齢が引き下げられ、高校時代は法的に大人の入り口の期間となりました。３年生は誕生日を境に成年です。保護者の皆様にも戸惑いがあるかもしれませんが、すべての大人が、責任を持ってこのことを受け止める必要があります。高校生を「大きな子ども」ではなく、「小さなおとな」として尊重し、育て、共に生きていくことが求められていると感じています。私たち教職員は生徒たちにとって身近な大人の一人として、自分の専門分野に限らず、授業づくりや新しい情報機器、社会の変化などを絶えず幅広く主体的に学び続ける姿を示しながら、生徒に生きる力を育む教育活動を進めてまいります。今年度も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校長室の扉はいつも開けております。気になることがありましたら、ともに考えてまいりたいと思いますので、遠慮なくご相談ください。

新入生に期待します

期待すること、それは苫南での生活を楽しむこと！

1年1組　成田俊哉

新入生、保護者の皆様、苫小牧南高校への入学おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

入学後のお子様の様子はいかがでしょうか。中学校とはまた違った高校での生活に戸惑いと不安を抱きながらも、新たなスタートへの期待と希望に満ち溢れていると思います。

苫南に入学したからには、是非高校生活を十分に楽しんでもらいたいです。そのために健康で学校に休まず登校する、休み時間には友人と語らう、放課後は部活動や講習を真剣に取り組みそこから得られる喜びを感じる、行事に積極的に参加し自分の役割を全うし達成感を味わう、などなど楽しむための要素は数知れず…。

楽しんで生活を送っていると、自然に心の余裕ができて落ち着いた気持ちでいられる、他人に対して優しい気持ちで接することができる、本業である勉強にも集中できる。我々1年次団はそんな楽しい苫南生活を送れることを期待していますし、応援サポートしていきます。

新入生へ向けて

1年2組　神　康裕

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。苫小牧南高校の生徒として第一歩を踏み出したわけですが、これからの高校生活に対して、期待と不安が交錯していることと思います。新入生の皆さんには高校生活を送る上で期待することを三つ挙げます。

一つ目は休まずに学校へ来ることです。このご時世、無理してまでとは言いませんが、まずは学校へ来て授業をしっかり受けて下さい。

二つ目は、思いやりのある生徒になって下さい。私は思いやりとは相手の立場になって考え、行動することだと思います。思いやりの心があれば、お互いが気持ち良く学校生活を送ることができます。ぜひこの事を頭に入れて学校生活を送って下さい。

三つ目は、高校生活三年間で何か継続できるものを見つけて下さい。簡単な所で言うと部活動がそれに当たると思います。三年間物事を継続することで、知識や経験が身につく事はもちろんですが、自分に自信が持てるようになると思います。新入生には以上の三つの事を期待しています。

「期待」とこれから

1年3組　前田麻子

入学式の朝、辺り一面真っ白な雪。猛吹雪の入学式だったクラスと、最高の三年間を過ごせたことに縁起を担いで、とても清々しい思いでした。「期待を胸に」と言いますが、これから始まる新生活に、一番期待して式に臨んでいたのは私かもしれません。

新入生の皆さんは何に期待して入学したのでしょうか。入学した途端、進路選択の話を聞き，焦った人もいるように思います。まずは調べたり、保護者の方と話し合ったり、動くことから始めましょう。そこから見えてくるものが必ずあります。どんどん世の中も変わっていく時代です。今までの正解が、これからは正解ではないのかもしれません。いくら迷っても、転んでもいいと思います。ただ、最後に取捨選択するのは、他の誰でもなく自分自身です。自分の足で自分の人生を踏み出す一歩のお手伝いができたら、と思っています。

新入生の皆さんへ

1年4組　越出　洋

新一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい生活で心も弾んでいる人が多いのではないでしょうか。皆さんの高校生活は、今始まったばかりです。それぞれの目標に向かって全力で進んでいってください。

高校生活の三年間は、人生においてとても重要な三年間です。大人になってからの三年間とは重みが違います。今からの三年間の努力によって、今後の人生が大きく変わってきます。ですから、後悔しないで済むように努力を積み重ねる事が肝要ではないでしょうか。

私は、高校時代殆ど家庭学習を致しませんでした。三年生になり進路について本気で考えた時に漸く勉強を始めました。勿論入試の結果は全滅でした。今から考える

と当たり前のことです。結局一年間浪人を致しました。つまり、結果は偶然ではなく日常がもたらす必然だと言うことです。「転ばぬ先の杖」は大切だと言うことです。また、令和になってもタイムマシーンは存在していません。人生をやり直すこともできません。ならば、今この時を大切に生き、納得のいく人生にすべきだと思います。そのために、我々教員も全力でサポート致します。皆さん、明るい未来のために切磋琢磨することを期待しています。

（1年次　担任団）

苫小牧南高校に入学して

1年4組　佐藤　漣

小・中学校とは打って変わり、何事も自主的に行動しなければならない場面が多くなりました。成人年齢が18歳に引き下げられ、大人への入り口となったこの高校3年間で、社会に必要とされる大人になれるよう頑張っていきます。

私にはメディカルトレーナーになるという夢があります。この職業は、簡単に言うとスポーツ選手のサポートをしたり、怪我をした人の手当てやリハビリのサポートをする仕事です。この進路を叶えるためには、専門学校で知識を身につけなければなりません。そして、グローバル化が進む現代では、仕事の中にも英語を使いこなせる能力が必要となってきます。そこで、私は英語教育に力を入れているこの苫小牧南高校で主体的に英語の学習に取り組んでいきたいと思います。さらに、GTECや模擬試験などといった、自分の力を試す機会も多くあるので、そういった検定や模擬試験を通して、自分自身の語学力をレベルアップできるよう努力していきます。

また、勉学に励むことも大事ですが、私は友達との関わりも大切にしていきたいと思っています。一人で全てを行うのではなく、仲間と共に協力しながら創り上げていくことは、社会に出てからも必要なことです。私は、苫南祭やスポーツ大会といった行事を楽しむことはもちろん、その本番までの過程を大切にしていきたいと思います。

以上のことから、私は少しでも早く高校生活に慣れ、自分にとって効率的な勉強法を見つけて、夢に向けて頑張っていきたいと考えています。

令和4年度（2022年度）

学校教育目標

国際社会の有為な形成者を目指し、若さにあふれ、実践力に富む人間を育成する
・自主的に学び 創造的で知性豊かな人間を育てる
・礼儀正しく 情操豊かな人間を育てる
・勤労を尊び 心身ともに健やかな人間を育てる

スクールポリシー

○育成を目指す資質・能力に関する方針
自己の目標達成や社会の課題解決等に自信を持って向かう生徒を目指し、主に次の力を「苫南力」として総合的に育成する。
知識・技能の観点から
…　語彙力，読解力
思考力・判断力・表現力の観点から
…　論理的批判的思考力，課題解決力，情報活用力
学びに向かう力・人間性の観点から
…　歩踏み出す力，寛容性

○教育課程の編成及び実施に関する方針
・単位制を生かした多様な選択科目を開設し，少人数授業，TT授業等を実施する。
・英語力の育成を図るとともに，国際交流や海外語学研修など視野を広げる教育活動を実施する。
・地域や国際社会が抱える課題の発見・解決能力の育成に向けて，教科横断的な探究学習を進める。
・主体性や創造性を育み，自他を尊重する人間関係を醸成する特別活動を充実させる。
・観点別学習状況の評価を推進するとともに，英語の外部検定による学修成果の単位認定等を行う。

○入学者の受入れに関する方針
・広く国際社会に目を向け，大学進学等の明確な進路目標を持ち，主体的に学習に取り組む生徒
・部活動・生徒会活動などに熱心に取り組んだ経験を持ち，その経験を生かしていこうとする生徒
・自他を尊重し，周囲と協力しながら行動していこうとする生徒

年次団紹介

1年次（12名）	主任	【主任】成田　俊哉（美術）　　【副主任】越出　洋（国語）			
	学級	1　組	2　組	3　組	4　組
	担任	成田　俊哉（保体）	神　康裕（数学）	前田　麻子（書道）	越出　洋（国語）
	副担任	木元　亮仁（国語）	坂口　麻希（英語）	早瀬　憲寿（数学）	佐々木　寛人（英語）
	年次付	田中　淳（理科）　加賀　博（地歴・公民）　山岡　景寛（理科）　紫原　高次（音楽）			

2年次（12名）	主任	【主任】津田　・助（保体）　　【副主任】触澤　和樹（地歴・公民）			
	学級	1　組	2　組	3　組	4　組
	担任	津田　・助（保体）	渡邊　徳彦（理科）	本保　尊子（英語）	触澤　和樹（地歴・公民）
	副担任	小山内　早苗（国語）	森野　藍（保体）	渡邉　幸輝（数学）	藤井　政幸（英語）
	年次付	内山　亮太（地歴・公民）　蛭子井　研吾（理科）　倉茂　雅人（国語）　藤田　千秋（養護）			

3年次（13名）	主任	【主任】小玉　恭史（地歴・公民）　　【副主任】宮本　こずえ（英語）			
	学級	1　組	2　組	3　組	4　組
	担任	宮本　こずえ（英語）	清水　健志（数学）	宮澤　裕幸（保体）	竹内　聡哉（英語）
	副担任	奥村　隆展（国語）	石原　玲子（家庭）	久我口　忠義（英語）	西山　学（理科）
	年次付	松田　大輝（地歴・公民）　山本　康史（数学）　加納　広（情報）　山本　園子（実習助手）			

令和4年度 部・局 在籍状況

			年次計			合計
			3年	2年	1年	
体育会系	野球	(男)	6	4	4	15
		(女)	0	0	1	
	男子テニス	(男)	4	6	5	15
	女子テニス	(女)	7	4	3	14
	女子バレー	(女)	3	9	2	14
	男子バスケット	(男)	6	11	3	22
		(女)	0	2	0	
	女子バスケット	(女)	5	3	5	13
	バドミントン	(男)	10	7	6	44
		(女)	11	3	7	
	卓球	(男)	2	0	4	10
		(女)	0	0	4	
体育系合計			55	49	44	148

			年次計			合計
			3年	2年	1年	
文化系	茶道	(男)	1	0	3	22
		(女)	2	7	9	
	美術	(男)	0	0	0	20
		(女)	3	11	6	
	書道	(男)	1	0	0	17
		(女)	6	2	8	
	演劇	(男)	0	1	2	13
		(女)	4	4	2	
	吹奏楽	(男)	1	1	4	30
		(女)	1	7	16	
局	放送	(男)	0	2	1	11
		(女)	0	5	3	
	図書	(男)	2	4	2	24
		(女)	6	9	1	
	ボランテイア	(男)	1	2	0	24
		(女)	11	7	3	
同好会	国際交流	(男)	1	0	0	6
		(女)	3	0	2	
文化系合計			41	62	60	163
総計			96	111	104	311

南高校に着任しました
よろしくお願いします

①前任校
②本校・本校生徒の印象
③一言・抱負等

中村隆之（教頭・地歴公）

①北海道恵庭南高等学校
②他校と比べて、苫南高校校舎は新しく、日差しも入り、明るい校舎で多くの講義室等があるように感じました。生徒は、明るく素直ですがすがしい感じのする生徒が多くいるように感じました。
③日々学びの継続を心がけ、生徒、先生方とともに成長できれば幸いです。「生徒にとって　苫南　最高！」と思える学校づくりに微力ながら尽力していきたいと思います。

倉茂雅人（国語）

①北海道恵庭北高等学校
②空き教室が多く余裕を感じましたが、生徒は真面目で余裕なく生活している印象です。これからもっと楽しそうにしている姿を見られることを期待しています。
③経験だけはありますが、常に新しく学ぶ姿勢を大切に生徒のためにがんばります。

木元亮仁（国語）

①北海道千歳高等学校
②着任前から登校時のバスを待つ様子を見ていて、礼儀正しい生徒たちだなと思っていました。実際に生徒の皆さんに会ってからも、日頃の挨拶や授業に取り組む姿勢など、しっかりしているなと感じています。
③微力ではございますが、生徒一人ひとりの夢を実現できるよう、全力でサポートしていきます。

佐々木寛人（英語）

①厚真高校
②落ち着いていて、目標に向けてひたむきに努力を続けている。
③微力ながら、学校教育目標実現のために努力してまいります。どうぞよろしくお願いします。

森野藍（保健体育）

①静内高校
②挨拶が爽やかで、優しく礼儀正しい生徒たちにとても好印象を抱きました。
③わからないことばかりでご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、体育の授業や部活動、行事、進路活動で生徒の皆さんとたくさん関わりを持っていきたいです。よろしくお願いいたします。

早瀬憲寿（数学）

①北海道穂別高等学校
②挨拶を生徒からできるのが第一印象でした。優しそうな生徒が多く、安心しています。
③苫小牧市のこと、苫小牧南高校のこと、どちらもまだまだわからないことが多く、ご迷惑をおかけするかと思いますが、全力投球で頑張りますので、よろしくお願いいたします。

保村正幸（事務）

①北海道札幌西高等学校
②歴史を感じる校舎ですが、学校内は落ち着いた雰囲気で、生徒も純朴な感じがします。
③少しでも南高校のために役に立てるよう、出来る範囲で頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いします。

3月末に離任された諸先生
お世話になりました

＜転出＞
佐瀬雅彦　教頭（北海道苫小牧東高等学校）
万年和紀　教諭（北海道伊達開来高等学校）
引地史哉　教諭（北海道浦河高等学校）
小樋陽一　事務主任（北海道札幌西高等学校）

＜離任＞
芹川正規　教諭
野村宏　教諭
茂呂芳年　教諭

令和4年度 役員名簿

よろしくお願いします

◎PTA役員

名誉会長	髙橋昭仁
会長	山端敬史
副会長	三國砂織
副会長	吉田純一
副会長	角田早苗
副会長	中村隆之
書記	魚住裕里
書記	村田美香
書記	山野桂子
会計	関恵理子
会計	小笠原由加
監事	宮川幸輝
監事	古川文子
監事	西山めぐみ
事務局長	紫原高次
事務局長	久我口忠義
	本保尊子
	村保正幸

◎後援会役員

会長	朝倉瑞昌
副会長	高崎正人
副会長	明日祐子
参事	山崎道江
書記	北川さおり
書記	村川知春
会計	若林美由紀
会計	青木美加
監事	濵口和美
監事	大藏直美
監事	堀部有里絵

令和3年度（4年3月卒業）卒業生進路状況（合格者延べ人数）

4年制大学（国公立）

北海道教育大学釧路校	1
北海道教育大学函館校	1
室蘭工業大学	3
はこだて未来大学	2
札幌市立大学	1
名寄市立大学	2
都留文科大学	1
秋田県立大学	1
計	12

4年制大学（私立）

北海道文教大学	9
北海学園大学	32
札幌大谷大学	3
藤女子大学	1
札幌学院大学	16
北星学園大学	13
北海道科学大学	18
北翔大学	6
星槎道都大学	1
北海道医療大学	11
北海道千歳リハビリテーション大学	5
日本医療大学	2
札幌国際大学	4
天使大学	3
北海道情報大学	1
札幌大学	2
酪農学園大学	2
創価大学	1
城西国際大学	1
神奈川大学	1
計	132

短期大学

北海道武蔵女子短期大学	4
光塩学園女子短期大学	2
北星学園大学短期大学部	1
札幌国際大学短期大学部	2
創価女子短期大学	1
計	10

専修学校（看護・医療系）

苫小牧看護専門学校	18
日鋼記念看護学校	2
市立室蘭看護専門学院	1
札幌医学技術福祉歯科専門学校	2
札幌看護医療専門学校	1
北海道医薬専門学校	1
北海道歯科技術専門学校	1
砂川看護専門学院	1
都城リハビリテーション学院	1
計	28

専修学校（衛生・教育・福祉・情報等）

札幌スポーツメディカル専門学校	1
北海道ハイテクノロジー専門学校	2
吉田学園情報ビジネス専門学校	1
青山建築デザイン・医療事務専門学校	3
北海道介護福祉学校	1
札幌ベルエポック美容専門学校	1
札幌スイーツ&カフェ専門学校	1
札幌ブライダル&ホテル観光専門学校	1
札幌ミュージック&ダンス放送専門学校	3
札幌商工会議所付属専門学校	1
吉田学園公務員法科専門学校	1
札幌こども専門学校	3
北海道美容専門学校	2
旭川福祉専門学校	1
札幌観光ブライダル・製菓専門学校	2
経専北海道保育専門学校	1
京都芸術デザイン専門学校	1
計	26

就職（公務員）

北海道行政職員	4
日高西部消防組合	1
北海道警察	1
自衛隊一般曹	2
自衛隊自衛官	2
計	10

就職（民間）

苫小牧信用金庫	1
株式会社ウェル海の丘	1
医療法人社団養生館苫小牧日翔病院	2
日本オイルターミナル株式会社	1
北海道電力株式会社	1
野口観光株式会社	1
学校法人柏学園	1
株式会社日高西部農協機械センター	1
宗教法人樽前山観音寺	1
ライラックフーズ株式会社	1
計	11

令和3年度（4年3月卒業）卒業生進路先（実人数）

単位制10期生	進学							就職		その他	合計
	4年制大学		大学校	短期大学	専修専門学校		進学未定	公務員	民間		
	国公立	私立			看護医療	その他					
男	5	33	0	0	0	5	0	2	3	3	51
女	6	33	0	9	27	20	0	2	8	3	108
計	11	66	0	9	27	25	0	4	11	6	159

部活道紹介（４月９日）

生徒総会（４月27日）

あとがき

ＰＴＡだよりの発行にあたり、ＰＴＡ広報担当の皆様、原稿を出してくれた皆様、ありがとうございました。校長挨拶、新任者の紹介、学校行事に係る内容等、とても充実したものとなり素晴らしく感じました。

「思えば遠くへきたもんだ」昭和60年（１９８５年）18歳の時、ふるさと福岡を離れ、北海道に上陸。千歳空港に降り、千歳線から見る景色や建物が新鮮で、日本語が通じる外国にいるような気分だったのを覚えています。親元から離れて自分探し、自己の確立等、そんなことを考えながら来道し、月日は流れ北海道在住が38年目となり、この春、新たに苫小牧市民となりました。毎日、山と海を眺めることができ、とても心が安らぎます。

只今、令和４年４月、新年度が始まり数日が経過しました。生徒の皆さんは気持ちを新たに前向きな姿勢で学校生活を過ごしているように感じられます。手前みそかもしれませんが、本校は英語教育や総合的な探究の時間の充実、進路実現に向けたサポート体制、教育相談体制などの取り組みを通して、生徒の自己実現支援に先生方が尽力している学校であるように感じました。生徒の皆さんが健康に留意し、学業のみならず、青年期における諸課題のよりよい解決が図られていくことを願っています。

先日、校内巡回しているときに、数年前の倫理の授業で中国思想を取り上げ、人生設計について学習した孔子のことばをふと思い出しました。『論語・為政』に「子曰く、吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従えども矩を踰えず。」（私は十五才で学問を志し、三十才で独立し、四十才で迷いがなくなり、五十才で天から与えられた使命を知り、六十才で人の意見を素直に聞けるようになり、七十才で思うままに生きても人の道を踏み外すことがなくなった）とあります。孔子であっても苦労の末、年月を経てようやくこの境地にあるのかもしれません。

最近、まだまだ毎日のようにコロナウィルス感染者数やウクライナにおける悲惨な戦争のニュースが報じられ、重苦しい気持ちにもなります。そんなニュースの多い令和４年の新学期スタートではありますが、明日は明日の風が吹きますので足元をしっかり固め、夢や希望、明るい未来を見据えて、日々の歩みを止めないことが大切なことかもしれません。

サン＝テグジュペリの『星の王子さま』のなかで、「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ。」とキツネが言ったように大切なものは、見たり触ったりできないものかもしれません。みなさんにとっての「大切なもの」を末永く大事にしていってください。

（教頭　中村隆之）